

各位

上 場 会 社 名 株式会社Def consulting
代 表 者 代表取締役社長 下村 優太
(コード：4833 東証グロース市場)
問合せ先責任者 管理部管掌執行役員 岩崎 雅一
(TEL 03-5786-3800)

トレジャリー戦略の方針転換に関するお知らせ

当社は、2025年9月17日開催の取締役会において、2025年8月25日付の「新たな事業（ビットコイントレジャリー事業）の開始に関するお知らせ」にて公表したビットコイントレジャリー事業について、トレジャリーの対象資産をビットコイン（BTC）からイーサリアム（ETH）（※）へ転換することを決議しましたので、お知らせします。

なお、当該方針転換は、急速に変化する市場環境及びビットコイン（BTC）市場に劣らないイーサリアム（ETH）経済圏の高い将来性を鑑み、株主価値の最大化を目指すための機動的且つ戦略的な決断であります。

(※) イーサリアム (Ethereum) とは、プラットフォーム全般の名称であり、イーサ (Ether、通貨コードETH) とはイーサリアムブロックチェーン上で使用されるネイティブ通貨であります。日本では両者をまとめてイーサリアムと呼称することが一般的であるため、本稿でもイーサリアム (ETH) と併記することとします。

記

1. 戦略の方針転換に関する理由

当社は、2025年8月25日付の「新たな事業（ビットコイントレジャーリー事業）の開始に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、デジタル資産をバランスシートに組み入れる「トレジャーリー戦略」を事業の中核に据え、日本を代表するデジタル資産保有企業となることを目指しております。

当初、その対象資産をビットコイン (BTC) として計画を進めてまいりましたが、その後の市場動向、競合環境、そしてイーサリアム (ETH) を巡る世界的な潮流を多角的に分析した結果、対象資産をイーサリアム (ETH) に変更・一本化することが、当社のビジョンをより確実且つ迅速に達成する最善の道であると判断しました。

今回の戦略転換は、以下の3つの理由に集約されます。

(1) 市場における圧倒的な先行者優位の確立

国内のビットコイントレジャリー市場は、既に複数の有力な先行企業が存在し、競争環境が激化しつつあります。当社が後発として参入し「日本一」を目指すには、想定以上の株式希薄化による実質リターンの減少が起きる可能性も否定できませんでした。

一方、国内において本格的な「イーサリアム (ETH) トレジャリー戦略」を掲げる上場企業は未だ存在せず、このタイミングで当社が舵を切ることで、この巨大な潜在市場における圧倒的な先行者優位を確立できると確信しております。

(2) 資産の性質：「価値の保存」から「価値創造経済圏」へ

ビットコイン（BTC）が「デジタルゴールド」として価値保存の機能に優れる一方、イーサリアム（ETH）は分散型金融（DeFi）や NFT 等の次世代インターネット経済圏（Web3）を支える巨大なプラットフォームであります。

当社は、イーサリアム（ETH）を、経済活動の根幹をなす「デジタルオイル」と捉えており、イーサリアム（ETH）を保有することは、単一の資産価値の上昇を期待するに留まらず、Web3 経済圏全体の成長の果実をダイレクトに享受することを意味し、よりダイナミックな価値創造が期待できます。

(3) 世界的な機関投資家の資金流入とデフレ資産としての魅力

米国における現物ETFの承認を皮切りに、イーサリアム(ETH)市場への機関投資家からの資金流入が本格化しており、その流れは今後さらに加速することが見込まれます。

加えて、イーサリアム(ETH)はネットワークの利用が活発になるほど供給量が減少する「デフレ資産」としての側面も持ち合わせており、長期保有における価値向上ポテンシャルが極めて高いと分析しております。

当社の目標は、単にデジタル資産を保有することではなく、「日本一」のポジションを確立することであり、そのためには、市場の追随者ではなく、新たな市場の創造者でなければならないと考えております。

イーサリアム(ETH)は、単なる価値保存手段ではなく、次世代インターネット経済圏を動かす「デジタルオイル」であり、その成長性は計り知れません。

当社の強みの一つは、市場のニーズやトレンドを踏まえて、機動的にその事業をアジャストできる決断力と機動力であり、今回の戦略の方針転換は、まだトレジャリー事業の初期段階であるからこそ可能であり、日本一且つ差別化の図れるポジショニングを形成するために必要な取組でもあります。

事業開始後、間もないタイミングでの方針転換ではあるものの、将来的な株主や投資家の皆様の高い期待に応える為に必要な決断であると判断しました。

当社は、日本初のイーサリアム(ETH)トレジャリー上場企業として、新たな歴史を創り上げてまいりますので、引き続きのご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2. 今後の見通し

今後、これまで計画していたドルコスト平均法等の規律ある手法に基づき、イーサリアム(ETH)の取得を段階的に進め、取得したイーサリアム(ETH)は、最高水準のセキュリティ体制の下で安全に保管及び管理する予定であります。また、取得したイーサリアム(ETH)の一部は、ステーキング等に活用し、安定的な利回り(インカムゲイン)を追求することで、イーサリアム(ETH)の価値上昇によるキャピタルゲインのみならず、より強固な収益基盤の構築を目指してまいります。

イーサリアム(ETH)の取得等の進捗状況につきましては、適時開示及び当社HP等を通じて、投資家の皆様に適時、透明性高く開示してまいります。

なお、本件につきましては、当社の中長期での企業価値向上に資するものと考えておりますが、現時点における業績への具体的な影響は未定であります。

また、今後、資金使途変更等を決定した場合には、速やかに開示をする予定であります。

以上